



市松改革

逞しくジリツ（自立・自律）した18歳を育てる



1 改革の経緯

導入の背景①

市内中学3年生徒数15%減（H28→R3）



少子化対応が必要

選ばれる高校へ

導入の背景②

予測不能な社会 困難に立ち向かう力が必要



新たな存在意義が必要

さらなる特色化へ

2 改革の概要

「学力の向上」、「グローバル教育の推進」、「部活動の充実」を柱として、進んで努力し、進路開拓する生徒、逞しく次代を生き抜く力を持つ生徒、グローバルな視点を備えた生徒の育成を目指し、キャリア実現に対応し、入学したくなる魅力的な学校、市民の誇りとなる愛される学校づくりを進める。

3 重点項目と実施状況 ※コロナ禍による変更や中止あり

- (1) 単位制の導入・・・幅広い選択制 特色ある学校設定科目 類型モデル「キャンバス」
- (2) 学習活動の充実・・・予備校による補習 高大連携事業 学習習慣定着取組 資格取得
- (3) グローバル教育の推進・・・海外研修 異文化理解講座 ALT活用 外国人生徒受け入れ
- (4) 入学者選抜の見直し・・・学区拡大 普通科8→7学級 外国人特別入学者選抜
- (5) 部活動の充実・・・実技による自己表現検査 部活動プラスワン 環境整備 部活動振興費
- (6) 教育環境の整備・・・単位制対応教室整備 ICT教室増設 グラウンド防球ネット設置 等

4 成果

中学生から選ばれる高校

入学者選抜倍率

令和3年度

普通科 1.23

国際人文学科 1.23

県全日制平均 1.07

2学区定員割 17校

令和4年度

普通科 1.44

国際人文学科 1.13

県全日制平均 1.09

2学区定員割 16校

好循環

魅力ある教育課程と活性化

学力

大学進学率上昇
上智大学現役合格 (R3)



グローバル

海外研修
外国人生徒受入



部活動

部活動加入率90.8% (R4.5)
全国出場6部活 (R1~3)



5 課題と今後の改革推進の在り方

市松改革は、生徒、保護者、市内中学校から大いに評価されている。

方向性はこのままで、3年実施した課題を解決しながら、推進していく。

特に整備の遅れているICT活用を重点項目としていく。

市立松戸高校は令和6年度に創立50周年を迎えます